

施策番号 5-2-1	施策名 効果的・効率的な行政運営	基本目標 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり 政策名 時代に即した行財政運営と行政サービスの推進
主管課 施策関係課	政策推進課 総務課・都市経営課	課長名 有澤 勝昭 内線 213

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果		
総合計画の取組を推進し、人工規模に合わせた効果的で効率的な行政運営を進めます。		第5期総合計画	総合計画:目標と掲げられた指標を実現する				計画などに基づき、人口減少などに対応した効果的で効率的な行政運営に結びつける		
成果指標	説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標	
① 第5期総合計画前期実施計画の施策評価(外部)の全施策がD以上、2施策以上がBの評価施策数	総合計画審議会評価結果	施策	34施策 (D以上) 0施策 (B以上) (R3)	34施策 (D以上) 4施策 (B以上)				34施策 (D以上) 2施策 (B以上)	
② 職員満足度	職員アンケート	%	78.0 (R3)	81.0				80.0	
③ 町の行政サービスに満足している町民の割合	住民意識調査	%	82.9 (R3)	84.0				80%以上	
④ 公共施設(建築物)管理面積	都市経営課調べ	m ²	205,370.91 (R3)	190,918.5				187,091.69	
⑤ 町有財産(土地)利活用率	都市経営課調べ	%	10.9 (R3)	10.9				15.0	
成果指標設定の考え方	①全施策においてD判定(変わらない又は維持した)以上を目指す。また、全施策のうち、5%以上(2施策以上)においてB判定(大きく前進した)を目指す。②前期実施計画で目標としていた数値の実現を目指す。③前期実施計画で目標としていた数値は達成しているが、80%以上を継続できるようを目指す。④公共施設等総合管理計画の目標値を目指す。⑤町有財産利活用等基本方針に基づき設定した目標値を目指す。								

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	114,652	28,392			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価(基準年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	6月上旬に判明する④以外の成果指標は、概ね上昇し、成果は向上したと判断する。
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①②③は達成しており、現時点では、現状の取組で目標は達成できると判断する。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	総合計画推進事業 公共施設等総合管理計画推進事業 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・総合計画の進行管理(評価)を実施した。 ・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した公共施設(集会施設等)の再整備を進めた。令和5年度については、地域協議を踏まえ、1施設について再整備を行った。 ・全般的な取組として、DX構想を推進するため、担当を配置しDX推進ビジョンを策定した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)

担当課 評価	新型コロナウィルスの影響を受けながらも、総合計画策定期よりは前進していると判断する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

A:実現した
B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「茅室町自治基本条例」や「第5期茅室町総合計画」の推進はまちづくりの将来像、基本目標の達成のための町政運営の原則であり、基本方針である。今後も進行管理をしっかりと行い、改善を図りながら行政運営を進めていかなければならない。 ・国全体におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の流れが加速している。 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅室町総合計画のPDCA(計画、実行、評価、見直し)サイクルは定着しているが、PDCAそれぞれの作業が次のサイクルに反映させる取り組みを更に強化すべきである。 ・DXが目的にならないように、住民視点での取組を進めていく必要がある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	議会からは、DXを積極的に推進するよう意見がある。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・計画・予算・評価の連動を目指しているが、評価と計画の繋がりが弱い。特に、施策の成果向上への結びつきが弱い事業については、縮小・中止・廃止の判断も必要になるが、現実的には難しく、そのための方法についても検討する必要がある。 ・令和5年度に策定したDXビジョンに基づき、全庁的に取組を進めていく必要がある。 ・公共施設等総合管理計画の目標達成に向けた、ファシリティマネジメント(施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営活動)の視点を踏まえた進行管理が必要となる。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	DXビジョンの策定も進めていることから前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。		A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標の向上で前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		
今後の取組に対する意見	・公共施設管理について、コミセンの活用は運用や体制づくりを住民と一緒に進めてほしい。		A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した				